

第35回 性の問題を考える会

日時 2026年5月10日(日) 13時～16時30分
(第一部 13:00～14:00、第二部 14:00～16:00、質疑応答 16:00～16:30)

会場 大府市石ヶ瀬会館 〒474-0035 愛知県大府市江端町4丁目1

対象 子どもにかかわる仕事に就いている方

定員 80名

参加費 無料

申込方法 下記のGoogleフォームからお申し込みください(2026年5月1日まで。先着順です)

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf0MQjrfqOpe2lhyo7Vm5I9PT9j0KxTh0Tmc2zQSo6DfVRSw/viewform?usp=publish-editor>



第一部 13:00～14:00

未成年者に対する性加害の構造的研究(統計データ解析の視点から)

【講演者】大橋 渉 氏

愛知医科大学 准教授 臨床研究支援センター 生物統計室

・盗撮防止Wcメンバー

・2023年度科学研究費助成事業(課題番号23K02494)、「教員の性犯罪と子どもに対する特定の性的嗜好性の関係 ～教員免許状の欠格事由になり得るか?～」研究代表

教育雑誌の記者、東京医科歯科大学情報医科学センター特任助教、財団法人臨床研究情報センター等を経て2018年より現職。1996年東京学芸大学 教育学研究科 社会学講座(修士)、2012年東京医科歯科大学(現:東京科学大学)医歯学総合研究科 生命情報学(博士)

名古屋大学医学部、東京医科歯科大学、椋山女学園大学、名古屋女子大学、四日市市看護大学、名古屋医専等、非常勤講師。国立長寿医療研究センター研究員。

【講演者より】

未成年者に対する性加害は後を絶ちません。令和6年には4850件もの被害を数えております。中でも教員や保育士など、子どもと接する職業における性加害は深刻であり、ここ愛知県でも教員による盗撮集団が検挙されたのは記憶に新しいところです。私は過去のデータを解析することで、主に教員等による未成年者に対する性加害が、どのように発生しているかを説明させていただきます。包括的性教育の重要性を、さらに深くご理解いただけると存じます。

第二部 14:00～16:00

① 未就学児への包括的性教育—こどもの権利を守り、育てる実践報告—

【講演者】森 重智 氏

三河病院 小児科医/児童精神科医 (元あいち小児保健医療総合センター小児科専攻医)

1991年名古屋市生まれ。2024年秋より日本子ども虐待防止学会・性虐待ワーキンググループ委員。同年から愛知県大府市と協働し、未就学児を対象とした包括的性教育を市内全公立保育園で実践。子どもたちが「自分も相手も大切にできる力」を育み、安心して成長できる社会の実現を目指して活動している。

【講演者より】

性暴力やいじめなど、子どもの人権が脅かされる出来事は後を絶ちません。こうした被害を防ぎ、子どもが自分と他者を大切にしながら安心して生きていく力を育むために、未就学児期からの包括的性教育が重要です。本講演では実際の出張授業をもとに、現場で明日から活かせる内容をご紹介します。

② 思春期の子どもたちへの包括的性教育— 子どもの権利を守り、育てる実践報告 —

【講演者】伊藤 加奈子 氏

産婦人科医

- ・名古屋市東区 ココカラウィメンズクリニック 院長
- ・NPO法人 ウーマンリビングサポート 代表理事
- ・NPO法人 全国子ども福祉センター 理事
- ・NPO法人 いるから（妊娠SOSあいち）理事
- ・一般社団法人 愛知子ども応援プロジェクト アドバイザー

2002年愛知医科大学医学部医学科卒業。2021年東京科学大学公衆衛生学博士課程卒業（旧・東京医科歯科大学・国際健康推進医学）。

日本福祉大学、愛知県立大学 看護学研究科、東京科学大学公衆衛生学 非常勤講師。愛知県警察学校、警察庁警察大学校講師。

【講演者より】

森先生の未就学児期からの包括的性教育から、思春期へつながる包括的性教育について外部講師でおはなしする内容の実際をご報告させていただきます。子ども達への包括的性教育を実践するにあたり、職員保護者にも共通の知識をもつことが重要ですユースクリニックでの性教育の取り組みもご紹介したいとおもいます。

～お問い合わせ先について～

電話でのお問い合わせの場合：児童養護施設 クローバーライト（担当：青山）0569-47-6877

メールでのお問い合わせの場合： a-sakiko@chita-gakuen.or.jp

共催：楓の丘子どもと女性のクリニック／性の問題を考える会